



曲亭馬琴著

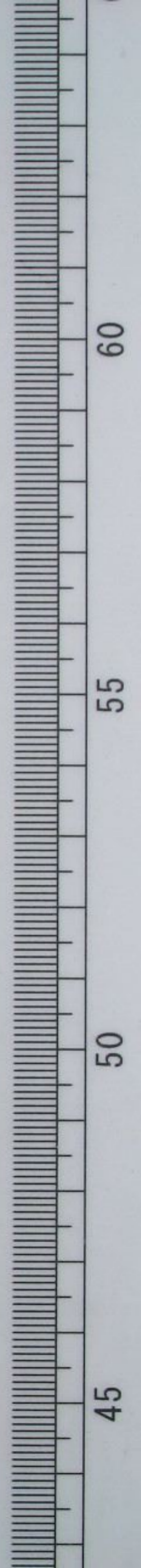
志心山松

利生鏡牙

七編四冊

溪齋英泉画

逍遙文庫
文庫 6
2254
7





小龍王

金毘羅船

利生纜



甘芝 泉岩 梓

文庫6  
2254  
7

邈姑峯の是首の昔よりとくるとの野夫の化物を策子と親  
 志は江戸の朝勝彼漢文の蒼表子と大和錦繪の榻付表子と綴  
 易の時好流行新奇も皆の相場も高に登る低なるも下学上  
 達の資あるは彼ののあふれども看るも看るも優よりあれが童蒙這  
 書を繕ひて細曳石投木登の悪遊戯の易ととる抑あ見  
 たは石折とシテありて淨藏の即ワキる且八戒の悟了とほ悟て  
 又了るの凡沙和尚の悟定る悟ふよと定る比皆是人の心あり定の  
 禅禅も靜靜る天の性動と變化するは無邊量重の邪魔  
 とはは變化既極る麻鬼も亦成佛は時あり誰うその心上の  
 一箇の阿弥陀らんや親世音も釋迦如來も亦是人我心を

本来他を求めずとて這身の在り親するは世音通を機感圓  
 通自在の中へ御意の物に心寄如記を名つけ親世音といふ心の常を  
 如來とま心常る禪定をすれば終つ了悟の時得難し迦毘羅の  
 名義を這策子の第一第二の編中へ入るは夫金石の堅固なるも  
 火を以てこれを攻む折もあつべし碎くも易かりければ亦石折の修行鍛  
 煉の別義あり又淨藏の淨藏と居前中もいへるは是心頭法如  
 來のありて迷悟の判る所を迷と悟と賢不肖と人我五臟の淨る  
 と淨るる所とあはらんの迷すのの迷を知らむ悟るの悟を覺え迷  
 悟両方忘れて後へ下を維麻の室へ入るべし

文政十三年庚寅春正月吉新版 曲亭馬琴識



三燈山假樵子

正在坡  
前伐朽  
柴忽逢  
長老自  
東未停  
柯住斧  
出林外

越步將  
身上石  
崖



鬼と  
娘と  
笑く  
外  
内  
心



三燈山  
銀面魔王



三燈山假樵子

威風凜凜 欺天將  
怒師羣  
妖出  
洞前



稻華洞  
五百魔王



稻乃花  
二百十日  
魔風  
菩薩  
秋  
申  
あ  
あ

因  
因

小妖奇巔

小妖  
箕  
箕



雲乃ある山  
 徳れと  
 穴の格も  
 世よ  
 好らん

吾各圖  
 布緯五郎

三日月公二冊

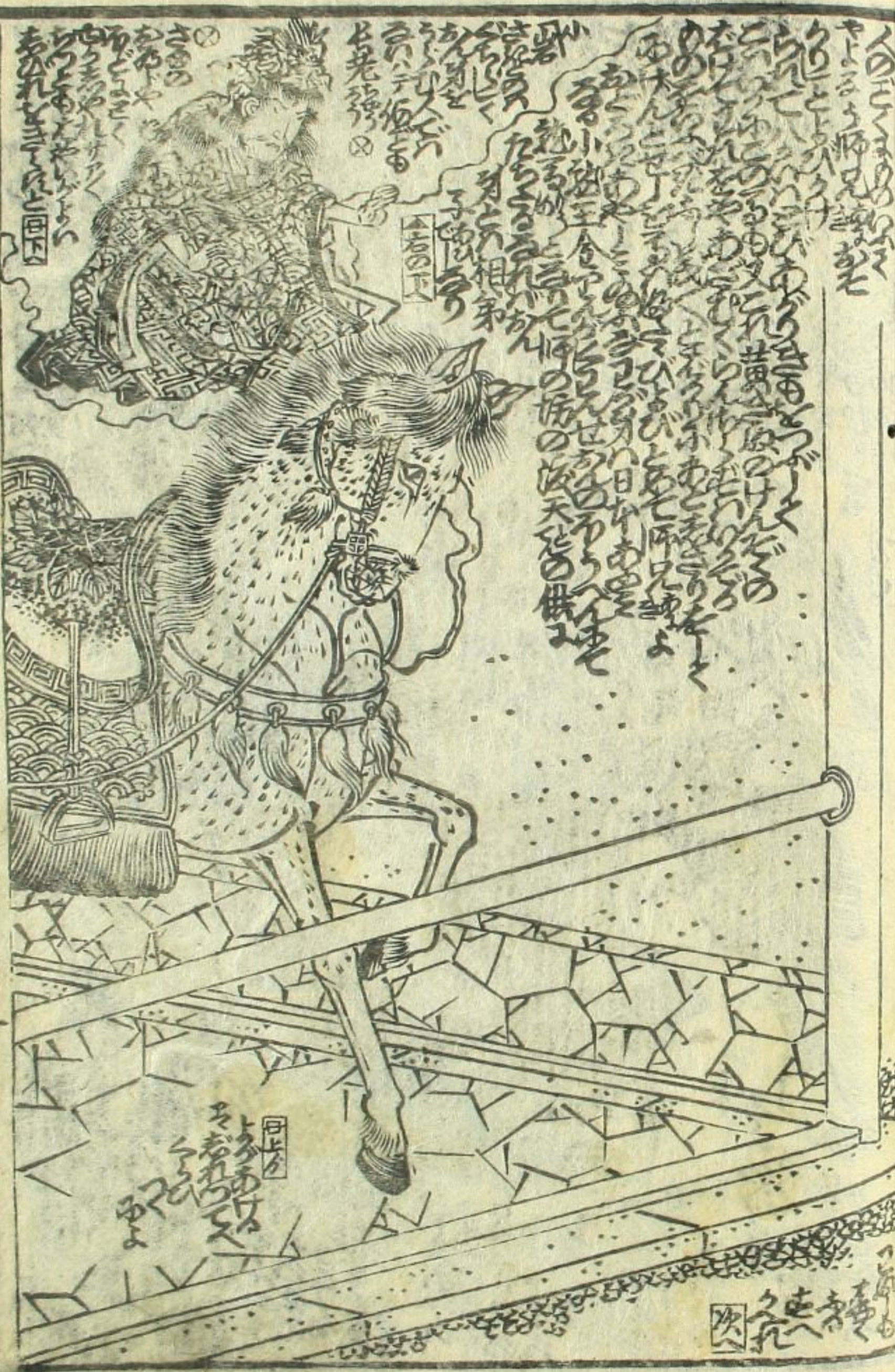
皺文多  
 牙齒稀疎  
 神氣壯



紅潤  
 臉皮

腰鼓林の  
 睡眠老媽

金長四郎



足利公二の御



金田四郎舟十郎

久延へ

おたけ



山田七郎左衛門公二編



山田七郎左衛門公二編





金田正徳公一編

此の巻の初めにいふ所の如く、  
 天竺の仙人が、  
 此の世に降つて、  
 人々に教へて、  
 善い事を行はせ、  
 惡い事を止め、  
 世を治めんとす。

此の巻の初めにいふ所の如く、  
 天竺の仙人が、  
 此の世に降つて、  
 人々に教へて、  
 善い事を行はせ、  
 惡い事を止め、  
 世を治めんとす。



金田正徳公一編

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or a list of names, surrounding the illustration on the left page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the commentary or list of names, surrounding the illustration on the right page.



金田氏家系十巻

山田氏家系十巻







金田九郎松七郎

十一



金田九郎松七郎



てんてん



全里七田能公丁冊

十三



全里七田能公丁冊

十三













山崎の山崎

あんなとせし山崎はひるむけ  
 これでもう天の清涼山を  
 うら七山をさるがそひるあけこれをもて

山崎の山崎はひるむけ  
 これでもう天の清涼山を  
 うら七山をさるがそひるあけこれをもて



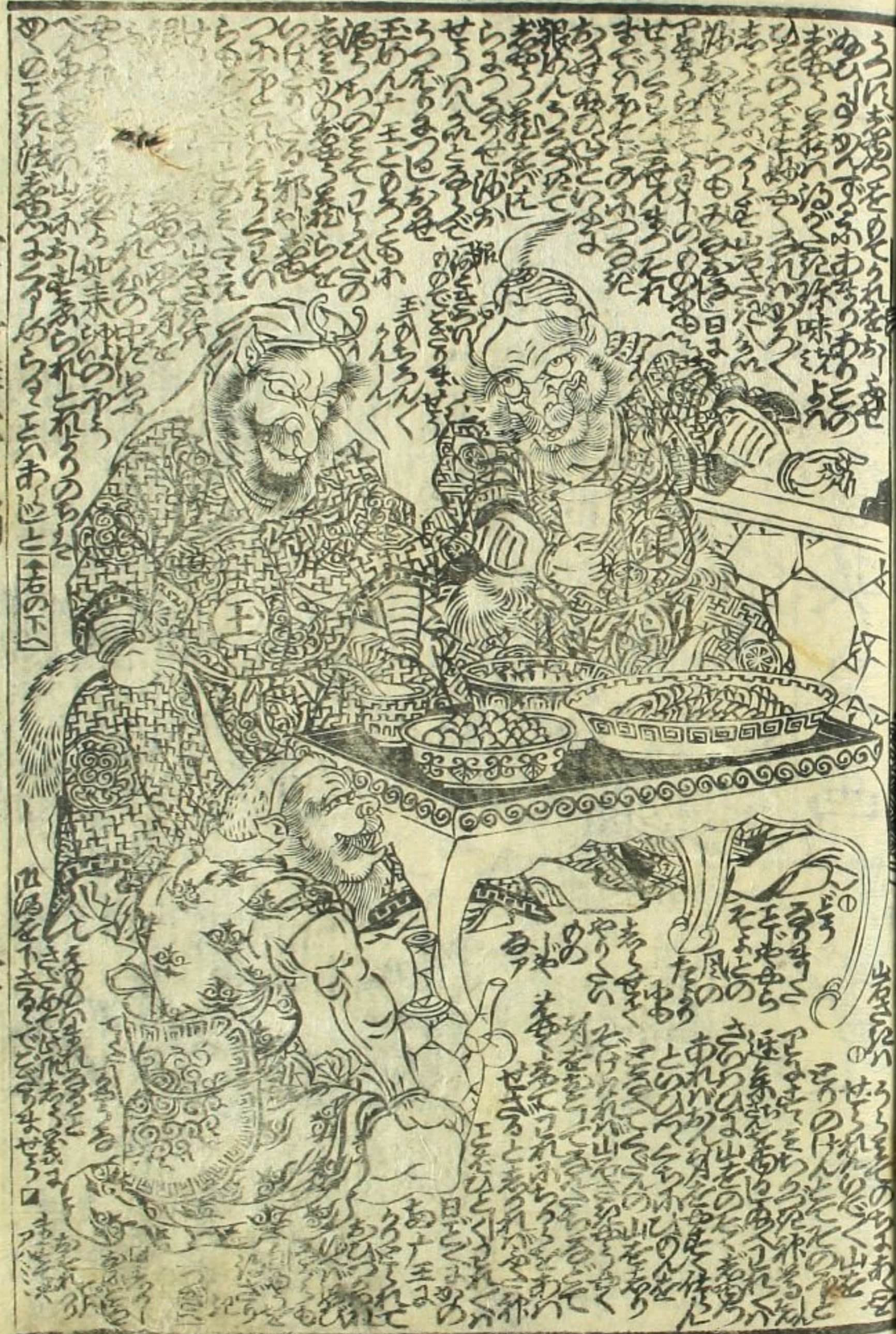
あんなとせし山崎はひるむけ  
 これでもう天の清涼山を  
 うら七山をさるがそひるあけこれをもて

あんなとせし山崎はひるむけ  
 これでもう天の清涼山を  
 うら七山をさるがそひるあけこれをもて

あんなとせし山崎はひるむけ  
 これでもう天の清涼山を  
 うら七山をさるがそひるあけこれをもて

山崎の山崎







家傳神女湯... (Text describing a family legend about a divine woman's bath)

精製奇應丸... (Text describing a refined miracle pill)

熊胆黒丸... (Text describing a bear gallstone black pill)

婦人... (Text describing a woman's condition)

神女湯... (Text describing the divine woman's bath)

滝澤氏... (Text mentioning the Takizawa family)



馬琴今作 (Illustration by Utagawa Kōchō)

川金 (Utagawa Kōchō)

洋書 (Western book)

五の... (Text mentioning the number five)









この山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり...

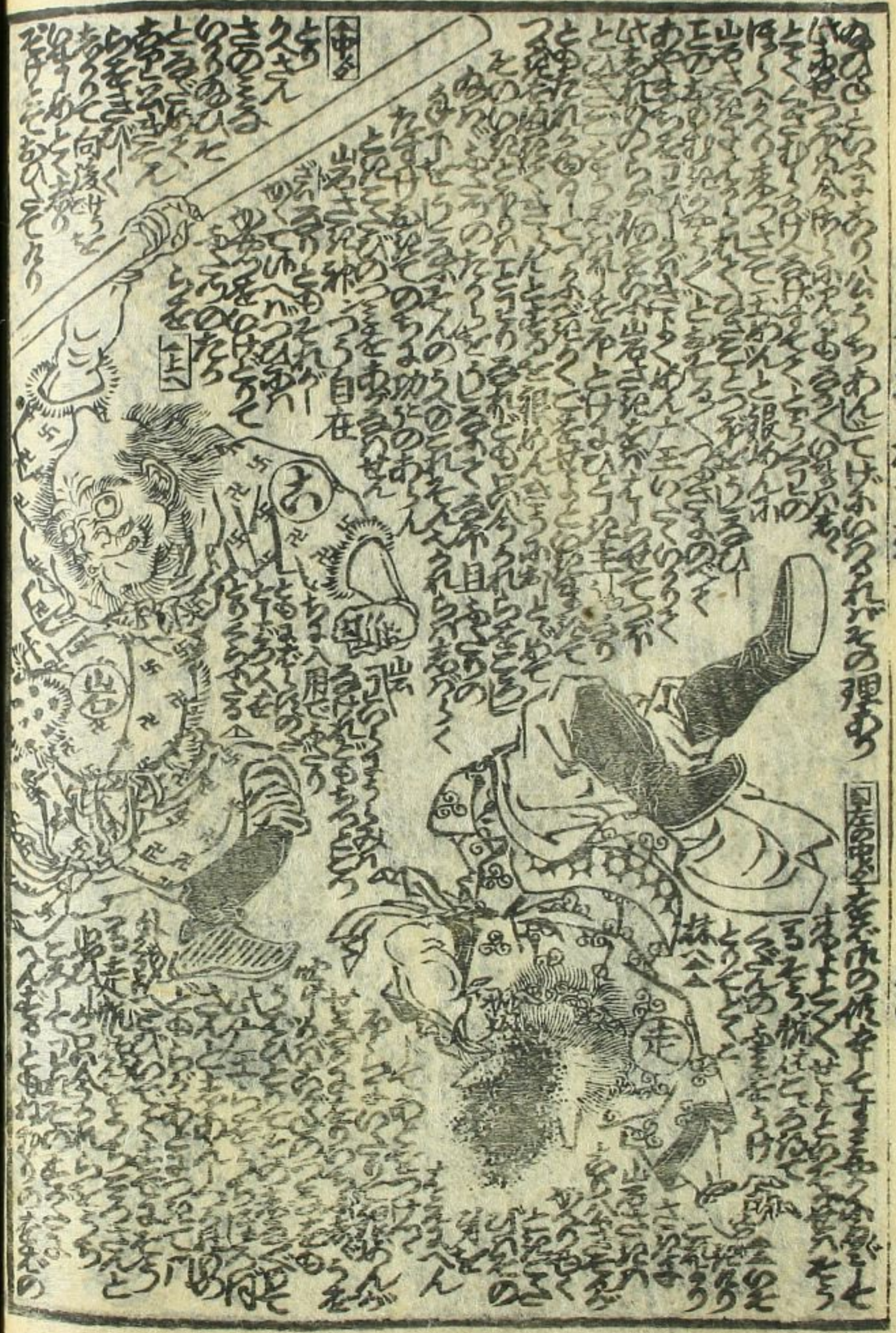
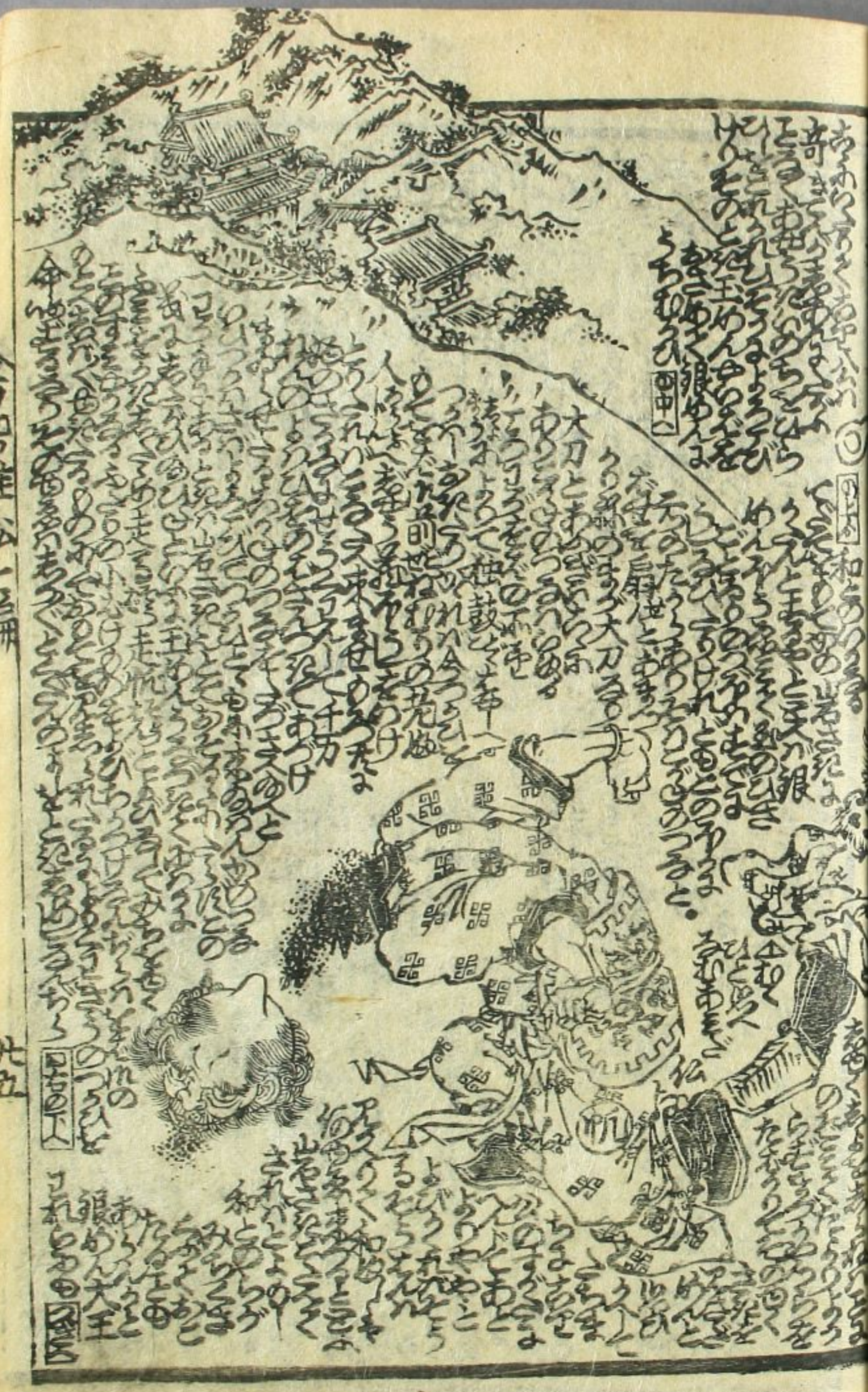


此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり...

此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり...



此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり... 此の山は天竺の山と云ふ事なり...



山崎の山崎

九五

山崎の山崎

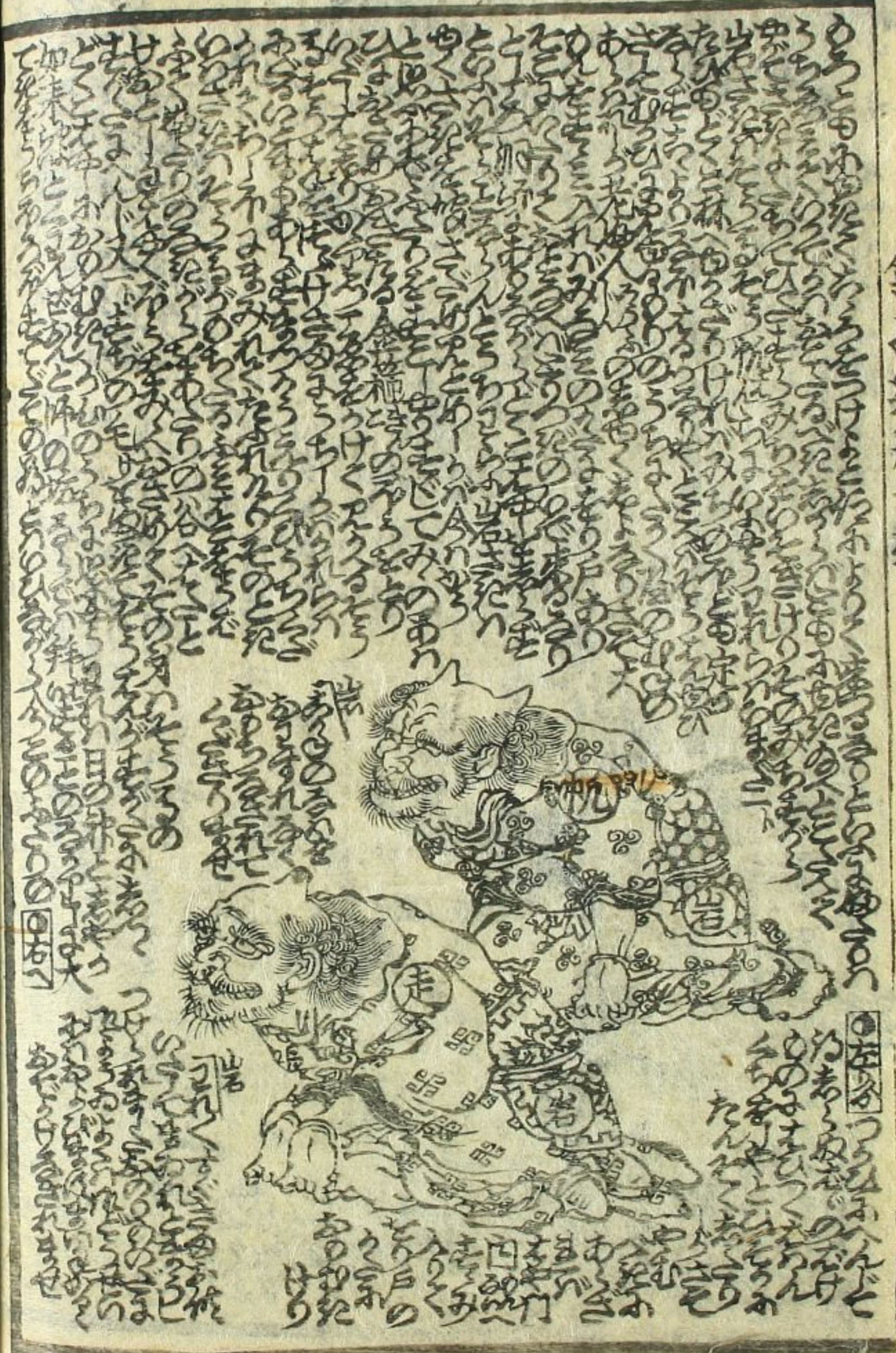
九四



金田七郎左衛門公二編

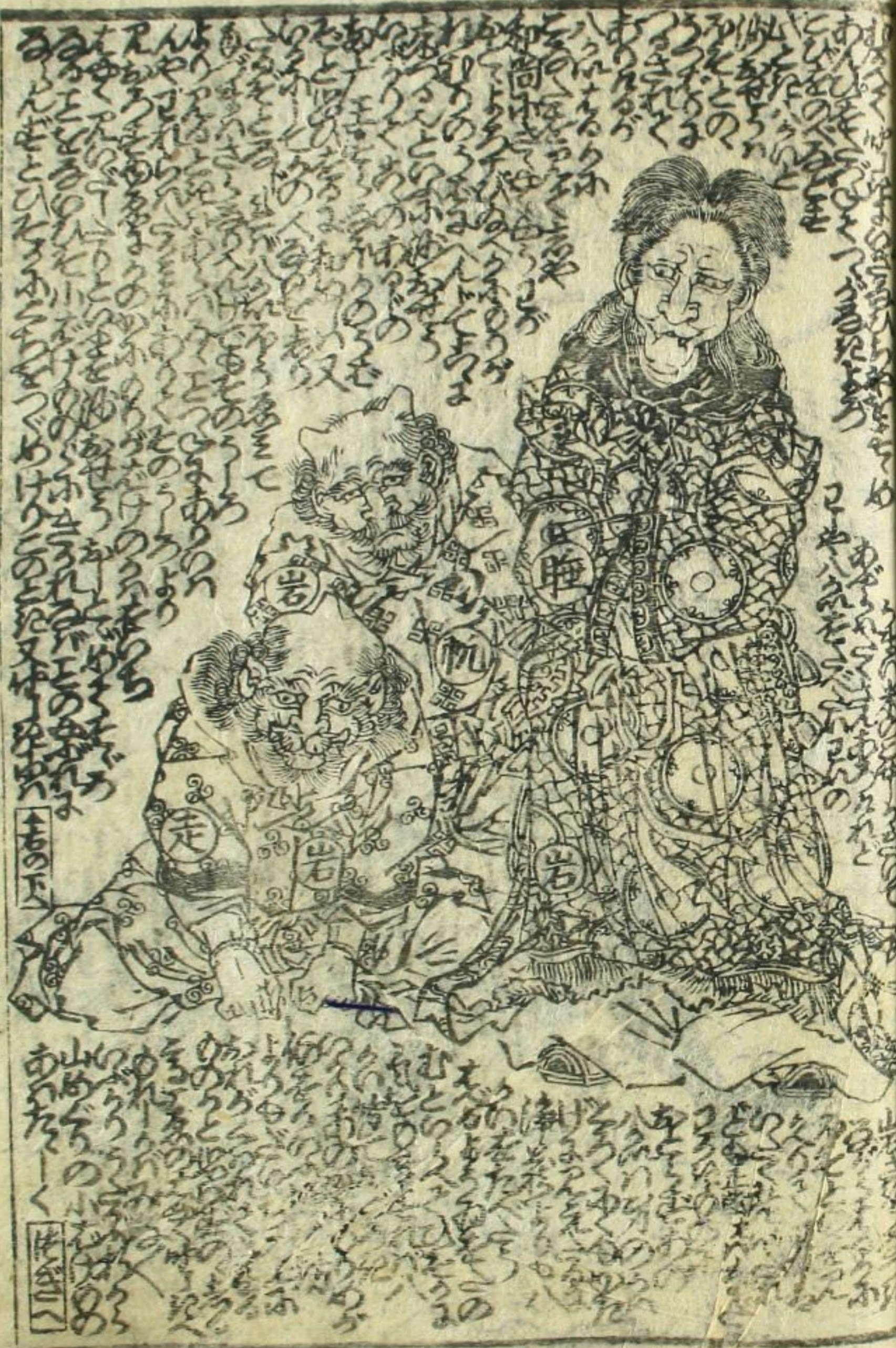
廿六

金田七郎左衛門公二編



Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the illustration on the right page. The text is dense and appears to be a commentary or a story related to the scene depicted.













入道七郎 公一

七



この上り、お一人お一人とつるはらへてまゐるの  
つるはらへてまゐるのつるはらへてまゐるの  
お一人お一人とつるはらへてまゐるの  
お一人お一人とつるはらへてまゐるの

うらやまのつるはらへてまゐるの  
うらやまのつるはらへてまゐるの  
うらやまのつるはらへてまゐるの  
うらやまのつるはらへてまゐるの



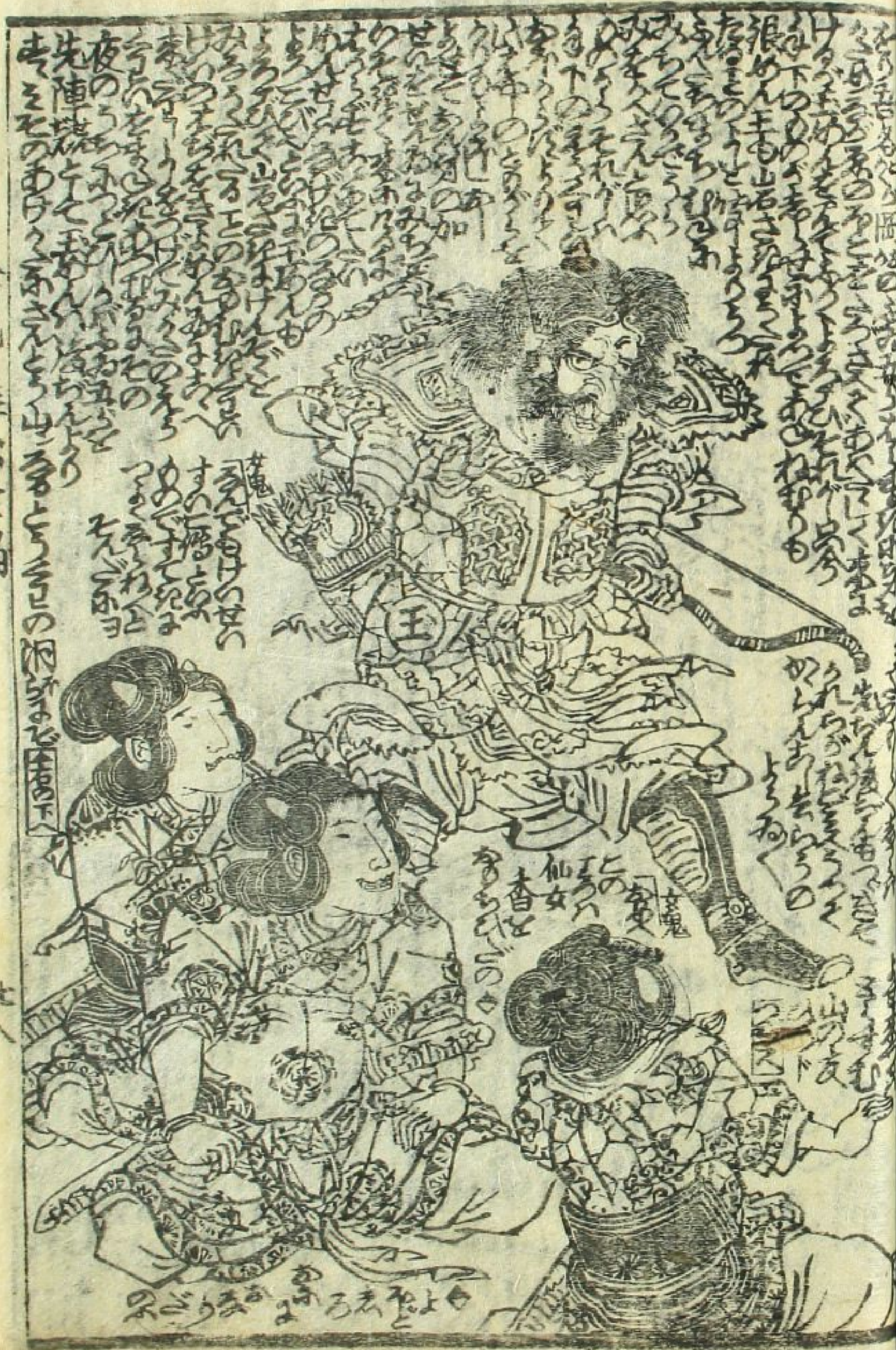












先陣のうしろ...

王の御座り...

仙女

おどろき



王の御座り...

おどろき...

先陣のうしろ...

仙女

おどろき







金毘羅船七編

馬琴作

家傳神女湯... 精製音應丸... 熊胆黒子... 婦人... 神田... 瀧澤氏... 松野氏...



英泉画

金毘羅船第七編 全八冊 曲亭馬琴作 溪齋英泉画

繪本武智袋 十返舎九作 四冊 大和假名懸想文賣 五冊 東里山人作 溪齋英泉画

於花半七 粹競意衣染 六冊 阿半雙面桂川水 六冊 武亭統之助作 哥川国安画

江都錦廓春風 全六冊 市川三升作 歌川国貞画

新古今西行櫻 全六冊 柳其種彦作 五渡亭国貞画

美艷仙女香 一色 江戸大通 芝神明前 坂本氏製 地本問屋 甘泉堂 和泉屋市兵衛版

早稲田大学図書館

011688995398